



罰則

の罰金

『河川法第29条』3ヶ月以下の懲役または20万円以下の罰金
『廃棄物処理法第5条及び第16条』5年以下の懲役または1000万円以下の罰金

皆さん、河川敷にどれだけの不法投棄があるか知っていますか？
残念なことに、毎年雪解けの時期になると河川敷への不法投棄が多く見られます。
ゴミは景観を損ねるだけでなく、きれいな川の水が汚染されたり、大雨が降った時には樋門、樋管の出口をゴミがふさぎ、操作が困難になることで重大な水害に繋がる恐れがあります。

美しい最上川を守るため、地域を守るため不法投棄はやめましょう。

STOP



H26～R4年度 大石田出張所管内投棄箇所マップ

代表的な投棄物のみ写真掲載



- H26年度 不法投棄箇所
- H27年度 不法投棄箇所
- H28年度 不法投棄箇所
- H29年度 不法投棄箇所
- H30年度 不法投棄箇所
- R01年度 不法投棄箇所
- R02年度 不法投棄箇所
- R03年度 不法投棄箇所
- R04年度 不法投棄箇所

大石田出張所では河川のパトロールを行い、不法投棄の場所や投棄物を厳しくチェックしています。
不法投棄は犯罪です！ 不法投棄物を発見した場合は警察または当出張所まで連絡をお願いします。

不法投棄は犯罪です

3月14日
(火)

横山地区堤防計画住民説明会



新庄河川事務所主催のもと、引堤に係わる大石田町横山地区の地権者及びその隣接者を対象に「横山地区堤防計画 住民説明会」を開催しました。
説明会において当事務所は下記の内容について説明をしました。

- ①引堤計画の設計について
- ②用地調査及び今後の用地の進め方について

引き続き大石田町と連携、調整を図り、事業がスムーズに進捗できるよう町民の方々へ丁寧な説明を心がけ、事業への理解を得ながら進めてまいります。



最優秀賞

令和4年度 所内業務報告会

実効性のあるPDCAサイクル型河川管理を目指して
～河川維持管理業務の効率化に向けた取り組み～

2/22(水) 新庄河川事務所において「所内業務報告会」が開催されました。
各課・各出張所の職員が日頃の業務について発表し、技術力の向上と事業における情報共有を図ることを目的に毎年行われております。大石田出張所からは吉田管理第二係長が「実効性のあるPDCAサイクル型河川管理を目指して～河川維持管理業務の効率化に向けた取り組み～」と題し発表を行い、最優秀賞を受賞しました。

※PDCAサイクルって何？ ・ Plan(計画) ・ Do(実行) ・ Check(評価) ・ Action(改善)
のプロセスを繰り返すことで業務を継続的に改善していく事。

管理第二係長
吉田 秀



お知らせ

大石田第5排水樋管に車止めを設置しました。

堤防を利用される方の安全面に配慮し、車止めを設置しました。雪解け後は黒滝橋から大石田堤防への車両の進入は出来ませんのでご注意ください。



出典：地理院地図に位置情報等を追記して掲載

油断大敵

油流出事故にご注意ください！

水質(油)事故の原因は

おもに家庭からの灯油流出です。

まだ寒い日が続きます！

特にホームタンクからポリタンクへの小分け作業中にその場から離れる、目を離すという事が油流出事故を引き起こす原因となっています。河川の水は水道水や農業用水など幅広く利用されていますので水質事故により油が河川に流れ出ると多くの方の生活や魚などの生態系に悪影響を与えることとなります。

一人一人の注意で油の流出事故を減らしましょう！

今年度の水質事故は9件発生しています！(2月末時点)

ポリタンクは約2分で満タンになります。



うっかりミスにご注意を！



油を流出させた場合または灯油の臭いや側溝等に油が浮いているのを発見した時は、警察・消防・各市町村役場・県・国のいずれかに速やかに連絡をお願いします。

「排水樋管」

堤防でよく見かける施設

「排水樋管」の役割を紹介します。

排水樋管とは→堤防を横断する水路のこと。洪水時に川からの逆流を防ぐための扉(ゲート)がついています。



①平常時や川の水位が低いときは、排水樋管の扉は開いており、生活排水や雨水などを川へ流しています。



②大雨の影響で川の水位が高くなると川の水が住宅側へ逆流してしまうため、樋門の扉を閉めます。



③洪水時に樋門の扉を閉めると住宅側の水の行き先がなくなり住宅側が浸水する恐れがあります。そのため、排水機場を設置したり排水ポンプ車で排水する等の対策をします。



④川の水位が低くなり、住宅側への逆流の心配がなくなったら、樋門の扉を開き、住宅側に溜まった水を川へ流します。

出水時等に施設の機能を確実に発揮できるように、水位観測員さんが毎月(1,2月を除く)点検を行っています▼

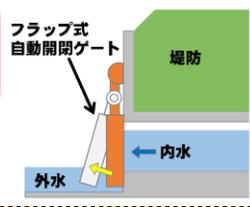


※洪水により樋門の開閉操作が必要なときは、水門等水位観測員さんに操作をお願いします。大石田出張所管内には26箇所の排水樋管があり50名の水門等水位観測員さんが地域のために活動してくれています。

「今宿排水樋管」においては排水樋管の老朽化に伴い、新たに「フラップ式自動開閉ゲート」を設置しました。また、自動化になる事で操作の負担が軽減され、操作遅れによるはん濫発生の恐れを防ぐことができます。

外水よりも内水の水位が高い時は、水圧によってゲートが自動で開いて排水されるんだ。逆に外水の方が水位が高くなると水圧でゲートが閉じる仕組みだよ！

フラップはバタバタと開閉するものという意味なんだ！



フラップ式自動開閉ゲートの操作方法を確認しています。

【発行】
国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 大石田出張所
(担当:本間・浅沼)
〒999-4113 大石田町大字今宿字鶯の原466-2
(TEL)0237-35-2024 (FAX)0237-35-2354

※「川通信 おおいしだ」をご覧になってのご感想やご意見をお寄せ下さい。
※工事現場や河川管理施設をご覧になりたい方は、大石田出張所までご連絡ください。

ホームページもご覧下さい！
<http://www.thr.milt.go.jp/shinjyou>

新庄河川 検索

